

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年12月15日更新

事務事業名	子ども・子育て事業計画策定事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	三苫 幸喜
	施策	4	子育て支援の充実			所属課	子育て支援課	担当者名	栗木 清智
	施策の柱	16	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2312
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 1	事業連番 11602	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度から実施される子ども子育て支援事業計画を策定・管理する。</li> <li>策定にあたり意見を広く聴取するため、子ども子育て会議を組織運営する。</li> <li>子ども子育て会議において、振り返りを行い次年度以降へ反映する。</li> </ul>
【業務の流れ】	①子ども子育て会議 ②事業計画の策定 ③条例の整備 ④パブリックコメント ⑤事業計画の公表 ⑥評価・提案・管理
【主な予算費目】	委託料 報酬および費用弁償
【意見や要望】	国が指針等を示すと同時進行しながらの策定であるため、先が全く見えないとの意見あり。前回委員会時に、就学前と学童期の分科会と全体会とを実施することで決定した。(H29年度～)

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO) 子ども・子育て支援事業計画の管理。 子ども子育て会議を1回開催した。	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 子ども・子育て支援新制度に伴う、合志市子ども・子育て支援事業計画の管理。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 小学6年生までの児童数 イ:	人
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 子ども子育て支援事業計画	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: 子ども・子育て会議委員数 イ:
人	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 子ども子育て支援事業計画が策定・管理される。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 策定・管理された計画数 イ:
個	個
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 子ども子育て支援事業計画の策定により、安心して仕事ができるまたは児童の健全育成が図られる。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標	ア	人	8,541	8,688	8,688	8,963	9,000	9,000	9,000	9,000	
	イ										
② 対象指標	ア	人	18	17	17	17	17	17	17	17	
	イ										
③ 成果指標	ア	個	1	1	1	1	1	1	1	1	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	7,675	77	89	59	89	5,084	4,000	89
		(A) 事業費計	千円	7,675	77	89	59	89	5,084	4,000	89
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	4	2	4	4	4	3
延べ業務時間	時間	480	250	300	230	300	300	300	250		
(B) 人件費計	千円	1,912	928	0	859	0	1,195	1,195	996		
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,587	1,005	89	918	89	6,279	5,195	1,085		

事務事業名	子ども・子育て事業計画策定事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

全体会だけでは、より詳細な議論ができない。そのため、次年度は就学前と学童期の2分科会を設けることを決定した。それぞれの年代に応じた議論を深めていき、より良い計画の遂行を図っていく。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止   <input type="checkbox"/>休止   <input type="checkbox"/>目的再設定   <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携   <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善)   <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						